

KAHOKU

かほく市 議会だより

第1号



笑顔

(市内、大輪スイカ出荷場)

**2中学校
改築に
27億8千万円
計上**

CONTENTS

初代議長決まる	2
意見書6件を提出	8
一般質問(18人が登壇)	10
常任委員会の報告	19

**政治倫理条例
原案を否決**

初代議長

中村修一氏に決まる

平成16年3月4日、第1回臨時会を5日間の会期で行い、初代の議長・副議長を選出した。
議会の組織などのほか、一般会計暫定予算11議案、市役所の位置を定める条例など172件、その他13議案について審議し、可決した。
また、議会が推薦する農業委員会委員のほか、議会の条例や会議規則なども決まった。



議長
中村修一 48歳
当選回数3回
大崎

初代かほく市議会議長という重責を痛感しています。
市政の発展と市民の融和、そして、議会のスムーズな運営に誠心誠意取り組み覚悟です。
1年2カ月という短い期間ですが、「合併してよかった。」といわれるまちづくりのために、前向きで活発な議会をめざします。



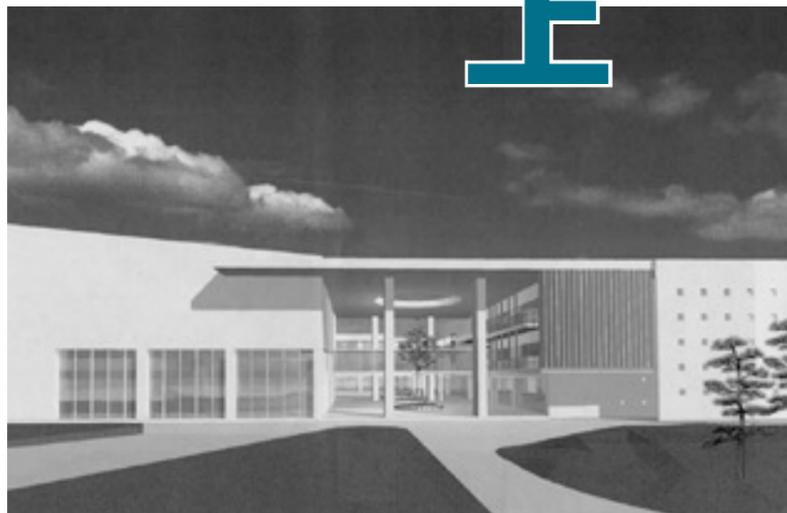
副議長
小笠原宏光 69歳
当選回数3回
木津

3月1日かほく市誕生により、初議会にて副議長の要職に就くこととなり、責任の重大さを痛感しています。
元より、浅学非才の身ゆえ、皆様の叱咤激励、ご鞭撻をいただきながら議長を補佐し、円滑な議会運営と市政の発展に努力します。

2中学校改築に 27億8千万円計上

平成16年6月8日から15日間、第2回定例会を開催し、実質的な本予算となる一般会計予算ほか10の特別会計などの予算を審議し、条例など6議案についても原案のとおり可決した。
人権擁護委員については、原案のとおり適任であり、任期満了の農業委員会委員についても、4人を推薦した。
また、議員提出の議案7件が提出され、議会議員政治倫理条例の制定については、継続して審議する必要があるとの意見が多く、原案を否決。(賛成17、反対25)
そのほか、6件の意見書は原案どおり可決した。

河北台中学校の完成予想図



第2回定例会

会期 6月8日～22日

一般会計

総額166億7千万円

主なもの

歳入

- ◆市税 35億4千533万円
- ◆地方交付税 38億5千800万円

- ◆国庫支出金 11億8千829万円
- ◆繰入金 17億7千144万円
- ◆市債 40億5千20万円

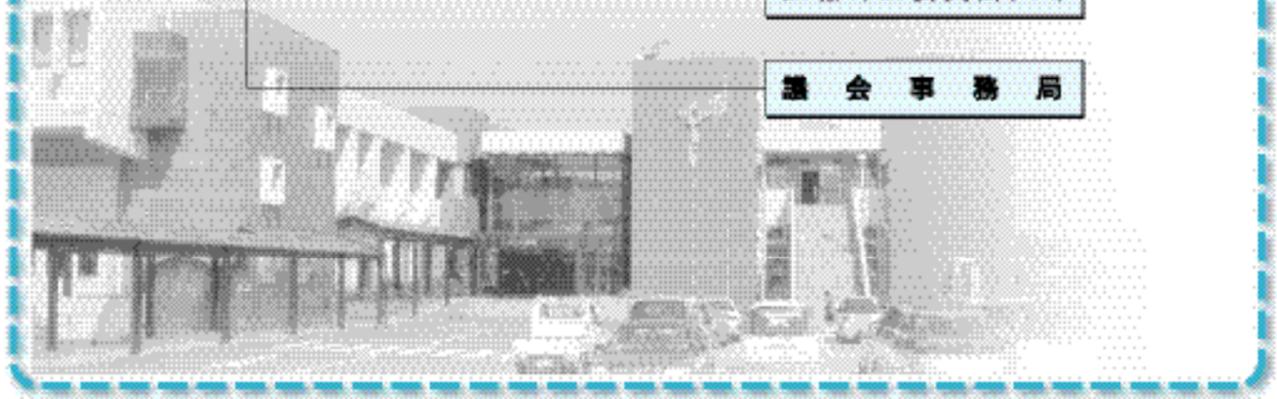
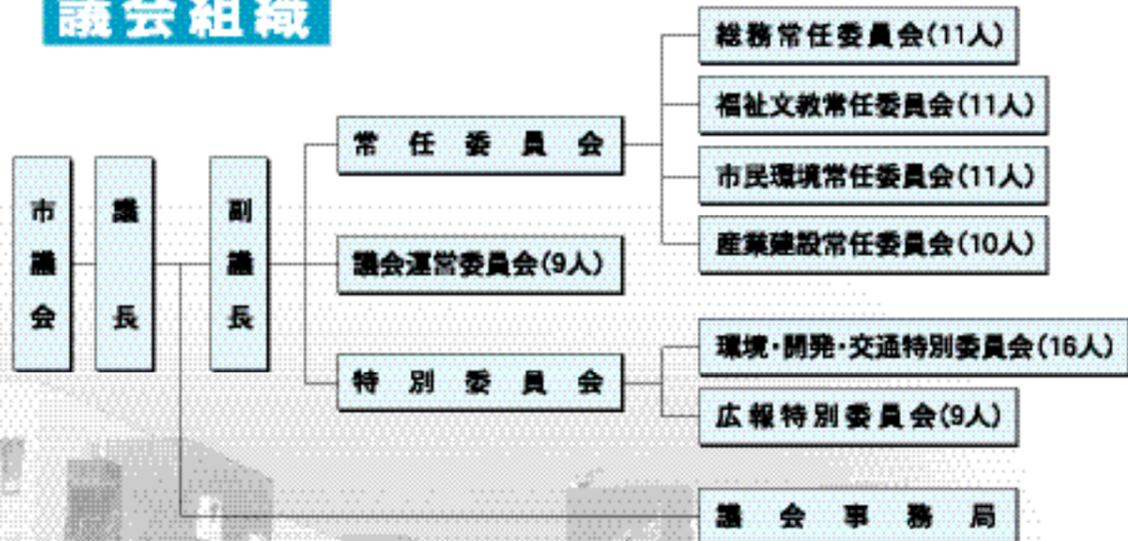
歳出

- ◆議会費 議員人件費1億6千807万円など、2億2千756万円
- ◆総務費 行政情報システム管理事業8千765万円、参議院議員通常選挙費2千417万円など、18億4千114万円

- ◆民生費 障害者等支援費給付事業2億6千676万円など、31億7千260万円
- ◆衛生費 老人保健特別会計繰出金2億4千675万円、検診事業1億2千975万円など、11億9千852万円

- ◆労働費 緊急地域雇用創出対策事業955万円など、2千65万円
- ◆農林水産費 中山間地域総合整備事業4千987万円など、5億1千77万円
- ◆商工費 七塚観光旅館経営支援補助金3千981万円など、1億9千704万円
- ◆土木費 下水道事業特別会計繰出金11億円など、23億4千602万円
- ◆消防費 高規格救急自動車購入事業3千639万円など、5億5千757万円
- ◆教育費 河北台中学校整備事業14億4千34万円、宇ノ気中学校整備事業13億4千465万円など、40億8千394万円
- ◆公債費 地方債元金償還金21億3千374万円など、25億414万円

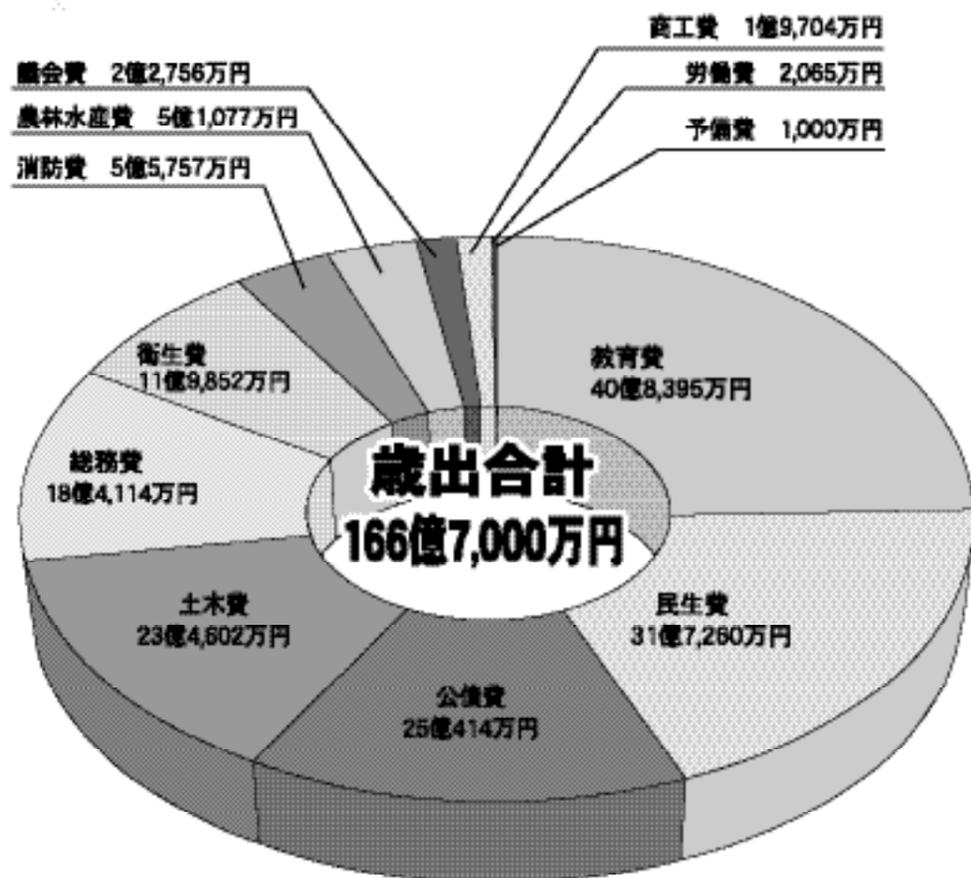
議会組織



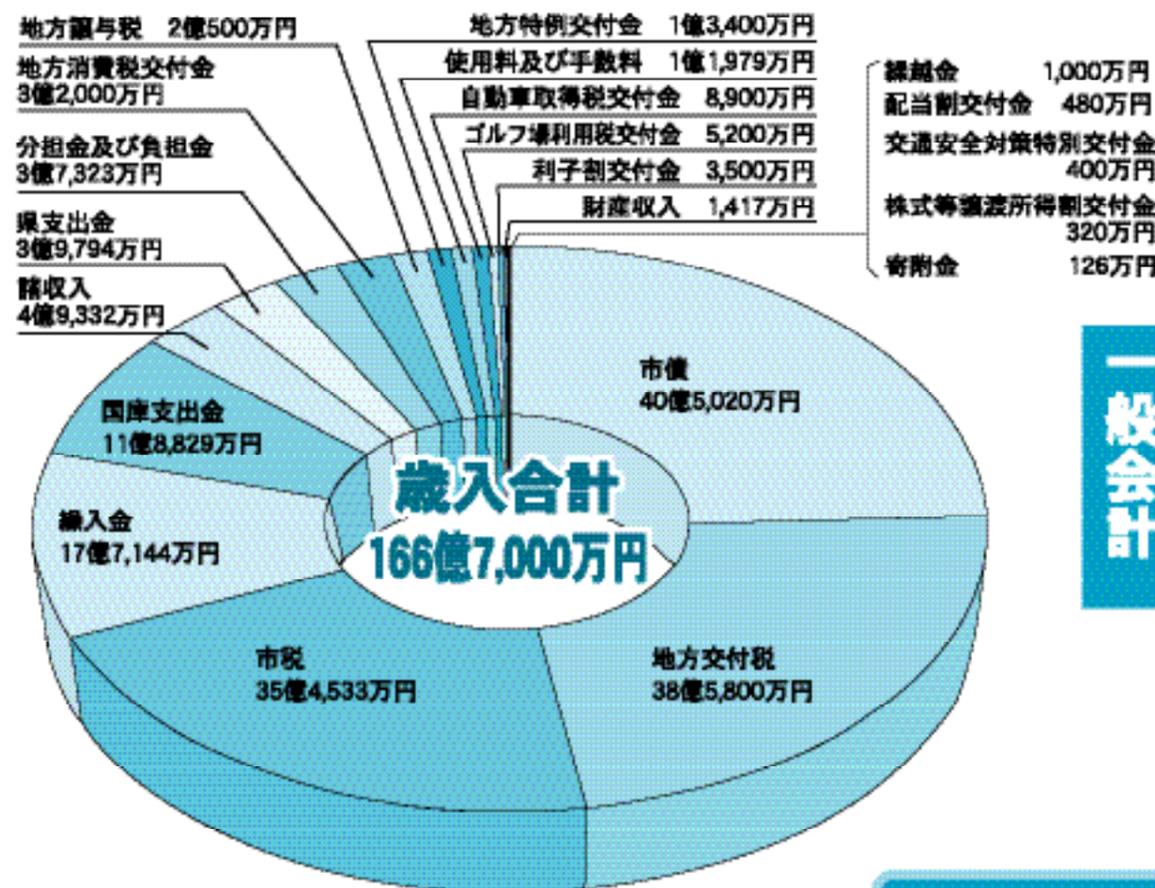
スタート 合併効果 に期待!!

平成16年度 第2回定例会を開催し、一般会計予算ほか10特別会計などの予算を審議し、実質的な本予算が次のとおり決定した。

一般会計



一般会計



特別会計予算

土地取得特別会計	1,710万円	下水道事業特別会計	31億2,000万円
市営バス事業特別会計	2,396万円	宅地造成特別会計	1,581万円
墓地特別会計	1,770万円	水道事業会計	(収益的収入) 6億8,623万円
国民健康保険特別会計	26億3,580万円		(収益的支出) 6億5,443万円
老人保健特別会計	38億2,250万円		(資本的収入) 2億5,560万円
介護保険特別会計	21億790万円		(資本的支出) 4億7,689万円
大海財産区特別会計	1,470万円		

- 特別会計の内容**
- 土地取得特別会計
 - 土地開発基金積立金
 - 市営バス事業特別会計
 - バス運行の負担金・補助金・運賃収入
 - 墓地特別会計
 - 墓地公園の管理費・借入金・元利償還金
 - 国民健康保険特別会計
 - 医療費の保険給付費・老人保健会計への負担金
 - 老人保健特別会計
 - 医療費として負担するもの
 - 介護保険特別会計
 - 介護保険に負担するもの
 - 大海財産区特別会計
 - 林業公社の造林事業
 - 下水道事業特別会計
 - 下水道事業の工事費・維持費
 - 宅地造成特別会計
 - 宅地分譲地売払い事業
 - 水道事業会計
 - 水道事業の工事費・維持費・整備計画策定の経費

市長の施政方針

行財政改革を強く押し進め、事業推進にあつては、必要な政策、優先順位を見極めながら展開し、かほく市全体の融和と一体化に努めると共に、地域の歴史、文化、伝統を尊重し、特徴を生かしながらバランスのとれたまちづくりを進めたい。まちづくり計画の基本理念「海とみどり」に根ざれた「やすらぎ」と「うるおい」のあるまちの実現のため、夢あふれる地域づくりに取

り組み、合併が間違いでなかったと言ってもらえるよう、公平、公正で、市民の目線に立ち市民の声を反映する市政運営に心がけたい。さらに「市民と歩み、市民と離れず、市民と創る」これをモットーに、市発展のために職員とともに、一丸となって全力投球で取り組みたい。



施政方針を述べる油野市長

知恵をしぼった

緊縮予算

定例会に提出された議案のうち、一般会計予算などについての質疑を2議員が行った。最終日には、反対・賛成討論があった。(賛成40、反対2)

補助金を問う

新藤豊明議員

サービス低下はないか

高橋成典議員

Q 七塚観光(株)経営支援短期借入金、1千800万円の用途は。

A 表商工観光課長 運転資金に充当。

Q 約4千万円の支援補助金の用途は。

A 表課長 建設元金相当額を支援するもの。

Q テナントの年間売上高は。

A 表課長 平成16年3月末で3億3千万円。

Q 道路維持費が約3分の1に激減したが、今後の見通しは。

A 板坂企画財政課長 市民生活に直結する基盤整備も、必要であると認識している。9月補正、12月補正で対応していきたい。

Q 防犯灯増設予算の増額を。

A 西市民部局長 870万円の予算内で対応していく。

反対討論

高橋成典議員

保険税の増額に反対

Q 旧七塚町では一般会計から国保会計に1千万円ほど繰り出していたが。

A 西部局長 繰出金は、過去3力年の給付の状況を踏まえ、調整した。

Q 西田幾多郎記念哲学館の8千万円を超える施設管理費についてどう考えているか。

A 助実教育部長 経費節減を図れるものは積極的にやっていく。

道路橋りょう費、道路新設改良事業費が約3分の1に激減している。今後の補正予算の増額を求める。

高齢者福祉で、食の自立支援業務委託が人札なしで、契約された。条例・要綱を厳守すべき。

国民健康保険税の、所得割が引き上げられた。一方で、課税漏れを放置し、値上げは撤回すべき。

課税漏れの再発防止と責任者の処分などに期限を切つて迅速な対応を求める。

保険税未納者についても、直ちに保険証を交付するよう求める。

介護保険料も値上げされる。

賛成討論

大田昇議員

評価できる

国民健康保険特別会計においては、共有固定資産に

ことに、私も反対ではない。しかし、今回の唐突とも思える、この提案のプロセスと内容について反対する。倫理条例作成委員会などを作つて十分な審査・討論・議論をし、大多数の議員が賛成し、成立させるのが、本当の倫理条例である。

賛成討論

梅田範文議員

議員自身が率先して

旧宇ノ気町においてこの倫理条例は、他の市町村、弁護士、行政問題に詳しい金大法学部教授、他の県の方々など幅広い意見を求め、委員全員で作成し、議会に付し、全会一致で決定をみた条例である。当時、マスコミなどで一番厳しい政治倫理条例が作られたとも報道されたが、それはつくることより守ることの大切さを自覚し、我々議員自身が

賛成討論

森大輔議員

今、制定を

市議会議員は市民に公平な政治が行われているか、チェックするのが仕事であり、自己の利益を図るものではない。倫理とは行動の規範としての道徳観や善悪の基準だが、その基準を文章にしておかなければ、倫理が乱される歴史があった。新市になり44人の議員でこの倫理条例を、今、制定することは、疑惑を持たれない清潔な議会となるために大きな力を発揮する。

かほく市議会議員 政治倫理条例

反対討論

哲地議員

全会一致で

全員が制定することに賛成した。ただ、内容を、一度審議しようとの意見がほとんどであった。これは倫理という問題で、本人の自覚が一番大事な問題であり、より効果を上げるためには全会一致で決議できるように望むものである。

反対討論

山田孝一議員

プロセスと内容が...

倫理とは、人としての道徳、人間が自立であること、また、他に振り回されず自己を自由に決定しうるものが前提となる。議員が自ら己を律する条例を作る

原案を否決するも

継続審議を確認

市議会議員政治倫理条例の制定について、11人の議員発議による議案が提出された。これは、旧高松町議会では、「公共事業の請負契約対象外に関する決議」がされていた、また、旧宇ノ気町議会には、「議会議員政治倫理条例」が制定されていたことから、市議会にも、市民の信頼に応えるよう、条例が必要であることから、提案されたものである。この議案について、4議員が討論を行った。原案否決。(賛成17、反対25)

議員提案の 意見書

三位一体改革の実現を求める

地方分権を確立するための
真の三位一体改革の実現を求める
意見書

三位一体改革が地方分権の理念に基づく改革となるよう求めるもの。

- 1 財源保障及び財源調整を堅持し、地方交付税総額は平成15年度以前の水準以上を確保すること。
- 2 基幹税による3兆円規模の税源移譲を実施すること。
- 3 国庫補助負担金は、負担転嫁は絶対行わないこと。
- 4 行財政運営に支障が生ずることがないよう対処すること。

提出議員 福村 穰
賛成議員 西谷 博英 多々見 邦次
小笠原 宏光 荒井 三喜雄
(全員賛成)

地方議会の権能強化に関する
意見書

地方議会が、自主的かつ主体的に活動できる環境を形成するとともに、地域社会における議会制民主主義が更に成熟する必要がある。

制度の規制緩和・弾力化はもとより、地方議会の権能強化及びその活性化のため、抜本的な制度改革に繋がる包括的な検討を求める。

提出議員 宮村 敏雄
賛成議員 高井 秀司 別宗 明敏
竹内 幹雄 荒井 三喜雄
(全員賛成)

2005年度国家予算編成において
義務教育費国庫負担制度の堅持を求める
意見書

義務教育の水準確保を保障するため要請するもの。

- 1 義務教育費国庫負担制度を堅持し、「交付金化」や「一般財源化」を行わないこと。
- 2 学校事務職員・栄養職員を義務教育費国庫負担制度の対象職員として引き続き堅持すること。

提出議員 小山 廣助
賛成議員 多々見 武 寺内 照雄
桜井 末男 高橋 成典
(賛成39・反対3)

干拓地に係る農地保有合理化事業の
主体的かつ効率的な適用措置を求める
意見書

干拓地農業の安定した継続と担い手の育成確保等を図る見地から次の措置を求める。

- 1 干拓地離農及び経営規模縮小希望農地に対する法人取得の適用。
 - 2 干拓地農地の法人取得制度の創設。
 - 3 国の財政支援の拡大。
 - 4 法人保有地の長期リース制度の創設。
- 提出議員 鶴見 静朗
賛成議員 坂井 正毅 梅田 範文
沖津 千万人 大田 昇
(賛成41・反対1)

干拓地に稲作(加工米を含む以下同じ)を
取り入れた複合経営体の育成に関する
意見書

干拓地農業の持続的発展に資するため、次の措置を求める。

- 1 稲作付けを取り入れた複合経営体の育成による干拓地農業の再構築。
- 2 土地利用規制の弾力的な適用。

提出議員 丹羽 厚志
賛成議員 糺地 哲 坂井 正毅
小池田 利治 西谷 博英
(賛成41・反対1)

干拓地酪農団地の再構築と
干拓地の活性化に資する土地利用に関する
意見書

新たな公的支援を加え酪農団地の育成を図るため、次の措置を求める。

- 1 農地等取得による負債軽減策。
- 2 長期リース制の導入による自己経営改善策の強化。
- 3 公共的(又は非農業的)な利用により有効な土地利用策による干拓地の活性化策。

提出議員 小池田 利治
賛成議員 鶴見 静朗 大田 昇
坂井 正毅 梅田 範文
(賛成40・反対2)

以上6件の意見書を、政府及び、県に提出しました。

請願

ポートピアかほく(仮称)専用場外券発売場の誘致に関する請願

賛成、反対など意見も多く、メリット、デメリットを時間をかけて調査・審議が必要であるとして、継続審査とした。

提出者

石川県金沢市西念3丁目3番5号
日本労働組合総連合会
石川県連合会
会長 川淵 尚志
紹介議員 山田 孝一
宮前 幹雄
國友 憲
糺地 哲
宮村 敏雄
寺内 照雄
澤本 正一

提出者
石川県金沢市西念3丁目3番5号
日本労働組合総連合会
石川県連合会
会長 川淵 尚志
紹介議員 小山 廣助
多々見 邦次
(賛成39、反対3)

干拓地に係る農地保有合理化事業の主体的かつ効率的な適用措置を求める

農地取得に伴う国の財源支援の拡大を求めるもの。

干拓地に係る農地保有合理化事業の主体的かつ効率的な適用措置を求める

酪農団地の負債整理のため、非農地的な土地利用を可能にすること。

稲作(加工米を含む)を取り入れた複合経営体の育成

干拓地土地利用規制の弾力的な運用を求めるもの。

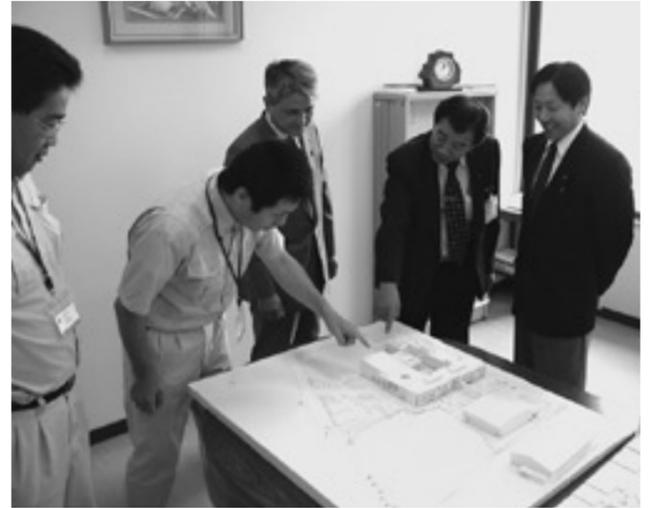
提出者 宮前 幹雄
理事長 櫻川 嘉一
紹介議員 澤本 正一
(全員賛成)

陳情

寒冷地手当の「見直し」を行わず、改善を求める陳情書

自治体財源への影響などや勘案し、地域的な調査研究も必要であることから、継続審査とした。

提出者 石川県国家公務員労働組合共闘会議
議長 西田 泰也



河北台中学校完成模型を前に

Q 市広報に各種競技大会結果の掲載を求める。
A 市長 合併当初のため、福祉関係や暮らしの情報の記事を優先掲載したが、今後は紙面の許す限り各種大会結果も記載する。

Q 中学校建設に専門の委員会設置を望む。
A 市長 中学校建設にあたっては、工事委員会をぜひ設置したい。また、全庁的な協力体制づくりを検討している。

Q 市営住宅の家賃未納状況を示せ。
A 油野市長 未納者は26人。督促、催促を行っているが、最終的には保証人にも納入を求める。



丹羽 厚志 議員

家賃の未納状況は保証人にも請求

Q 海岸侵食対策を進めよ。
A 油野市長 平成14年度から10年計画で事業が進められている。高松・七塚海岸では総計9基の人工リーフ、大崎海岸では50メートルの突堤建設と、砂投入が行われる。
Q 県道、国道の歩道整備を急げ。
A 市長 十分認識しており、県公安委員会、県土木部とも協議して要望する。



杉本 正一 議員

海岸の浸食対策は順番に整備している

Q 移動図書館導入の考えはないか。
A 遠田教育長 公民館学校、保育園、幼稚園、学童保育などに貸し出している。普及に努める。

Q 太陽光発電に補助制度を導入せよ。
A 市長 地域性もあり、効果、コストを含め調査研究する。



建設が進む大崎海岸突堤工事

課税漏れ問題は調査を見極めて



高橋 成典 議員

Q 国保税課税漏れの諸問題を明らかにせよ。
A 油野市長 あつてはならないミスであり、現在細部を調査中である。結果を参考にして必要な対応、措置を取る。

Q リバーシティ計画に対する市長の考えは。
A 市長 市民のニーズ、市の活性化、魅力あるまちづくりの観点から、真剣に検討・協議する。



お母さんと一緒（ほのほの健康館）

Q 住宅リフォーム制度の対象拡大を求める。
A 市長 技術的判断が困難であり、直ぐに制度拡大は難しい。

Q 乳幼児医療費助成制度の現物給付を求める。
A 市長 医療機関との委託契約が必要であり、県、県医師会の意見も聞いて判断したい。



よみがえれ美しい砂浜（高松南部海岸）

Q 高松 七塚海岸の往來の自由をはかれ。
A 油野市長 現在、高松七塚の海岸線は雨水排水管が露出しているので困難である。また、暗きよ化は調査が必要である。

Q 人工リーフの設置を高松まで延長せよ。
A 市長 景観面を考慮して、整備事業を推進して行く。
Q テトラポットが壊れそうになっているが。
A 市長 海岸線のバトロールを強化し、危険箇所の確認及び状況を調査して、注意を促す対策も県当局に要請して行く。

Q 人工リーフよりテトラポットで早く工事を進めよ。
A 市長 安価で設置できるテトラポットより、景観を配慮して人工リーフにした。



多々見邦次 議員

白砂青松の海岸守れ人工リーフで保全



インターネットで外国の友達と(宇ノ気中学校IT教育授業)

に努める。
案内窓口は本予算決定後設置する。

Q IT教育における心の教育は。

A遠田教育長 命の大切さを実感できる心の教育を指導し、人には優しくすることを中心に指導強化を図る。

Q 児童、生徒の英語力向上は。

A教育長 学校教育目標では重点事項であり、ALT(外国語指導助手)を3人配置し、充実、向上を推進している。小学校1年生から英語に触れる時間を取り実践している。

Q 分庁方式では、サービスが低下する。本庁での案内所の設置は。

A油野市長 最初は不慣れもあったが、鋭意努力している。職員教育も、部長会議を通じて、あいさつの励行や明るい丁寧な対応

IT教育



高井 秀司 議員

心の教育は

何よりも命の大切さを

悪臭問題に具体策を

年間を通じて測定

経過年数などを考慮し、検討していく。

Q 高松南部の悪臭問題は。

A市長 臭気の測定は5日間行ったが、基準以下である。

今後、年間を通じて測定をし、基準を超えれば、県当局と連絡を密にして、積極的に取り組む。



荒井三喜雄 議員

Q 河北台、宇ノ気中学校の同時改築工事の是非を問う。

A油野市長 合併協議会で校舎建設や学区割は、現行のとおりとした。

旧3町教育委員会でも確認済み。住民感情からも、統合中学校ではなく従来の学校区で行く。

Q 高松中学校の建替えは。

A市長 高松中学校は昭和54年に建設され比較的新しい。耐震診断を行い、結果を見て補強計画を検討する。改築工事の実施は建築



耐震補強工事(宇ノ気小学校)

ポートピア誘致

市長の見解は

現段階では賛成できない



新藤 豊明 議員

Q ポートピア(場外舟券売場)に対し、市長の見解は。

A油野市長 設置されることよって、歳入面でのメリットもあるが、市の人口増加策や市民の定住化が計られないというデメリットもある。

青少年教育への悪影響が心配されるだけでなく、交通渋滞など、市民生活の環境が悪化する恐れがあり、誘致には賛成できない。

Q 公約に掲げた政治姿勢、重点施策をどのように遂行していくのか。



競艇場内舟券売場

A市長 市民との対話を大切にし、信頼を得られるよう、公平、公正な行政の実現を目指す。

Q 住民サービス維持の来年度以降の財政的な裏付けは。

A市長 厳しい状況の中、行財政改革に取り組みながら、できる限りサービスを維持する。

Q 高松地区にも、乳幼児健診会場を設定の考えは。

A市長 医師会との調整が必要。

Q 内日角南交差点(消防署前)信号機の改善を。

A市長 道路管理者と協議し、適切な措置を講じる。



山田 孝一 議員



どうなる三位一体の改革

が続けられる状況とは言えない。
この厳しい局面で、市長は行財政改革を、どう進めていくのか。
A油野市長 平成20年を目標とする行財政改革5カ年計画を策定し、組織や定数管理、事務事業の効率化、行政経費の節減を図り、行財政改革を積極的に推進することを公約に掲げている。
具体的な手法については、行財政改革推進委員会を設置し、十分な検討を重ね、行財政改革大綱を策定していく。

行財政改革をどう進めるのか

公約どおり積極的に推進

Q 政府は地方分権、三位一体改革を掲げ、権限と税源を移譲して、地方交付税や補助金を削減していく方針を示している。
予算の一律カットで、厳しい財政状況が続く自治体には、もはやすべての政策



糺地 哲 議員

市の建設計画は

総合計画の中で策定

Q 市の建設計画、長期的ビジョンの経費及び人員の削減や新庁舎問題は、

A 油野市長 今回の予算で計上した総合計画の策定を進めていく。人員については、10年で80名強の削減を目指す。事業の必要性、優先順位を見極め、経費の削減を実施し、庁舎建設については、慎重に検討を進めていく。



宇ノ気中学校の完成予想図

Q 中学校の将来構想を再検討すべきでは、

A 市長 3校で、学校運営することが、最適である。合併協議会で方針が決まり、市民の皆さまに、理解を得られたと解釈している。



ケーブルテレビのスタジオ

Q ケーブルテレビ網の整備について、事業体や手法利用方法などを示せ。

A 油野市長 他町と同様な第3セクター方式が現実的だと思う。

Q 産業廃棄物処理施設に関する市環境保全条例の改正が必要では、

A 市長 当面は、県や市の環境保全条例によって、取り組んでいく。

Q 幼稚園、保育園の一元化の計画はあるか。

A 市長 省庁間の垣根を越えた制度の再編を期待する。
Q 大海第1、第2保育園統廃合事業は、整備検討委員会に沿った事業計画か。
A 市長 答申に沿って、保育園用地取得費および、敷地造成費用を計上した。

Q 市内全域を結ぶコミユニティバスの計画はあるか。
A 市長 現時点ではない。



國友 憲 議員

市にハローワークを

容易でないが……

Q 市にハローワークを。
A 市長 設置は容易ではないが、制度的なことを含めて研究をしたい。

Q 空き缶のポイ捨てや、犬の糞の処理など、マナー向上をうながす考えは。
A 油野市長 「罰則等、厳しい態度で臨むべき」という市民の声もあるが、看板の設置などで、周知を図っている。



混雑するハローワークつばた

ため、ほ場整備を継続実施する。

技術水準の高い意欲ある農産物事業者に対する支援は今後とも、県やJ.A石川かほくと十分協議し、実施していく。

Q 農業振興整備計画策定とは何か。
A 宮坂産業建設部長 予算に計上された300万円は、今後、農業振興用地の見直しを考えているものである。



ほ場整備の無事完成を祈って

Q 農業振興のため、市独自の助成制度の創設など、積極的、具体的な施策を示せ。

A 油野市長 農業基盤の強化策として、河北潟干拓地の活性化はもとより農業の持続的な発展を支援する



澤本 正一 議員

農業振興の施策を示せ

ほ場整備を継続実施



閉校後も利用者が多い(旧河北台商業高校グラウンド)

Q 企業誘致委員会や商業活性化委員会などを作る考えはないか。
A市長 現在ある商業振興審議会の柔軟な活動に期待することも一つとして活用を図っていく。

Q 河北台商業高校の跡地について、ナイター設備のあるグラウンドとして活用する方法は。
A市長 グラウンドは、県から無償で暫定的に借りており、ナイター設備を設置することは困難である。

Q 税の増収を図る企業誘致、商業の活性化にどのように取り組むのか示せ。
A油野市長 商工会や関係団体とも連携を密にし、幅広い誘致活動に努める。

Q 普通高校を誘致する考えはないか。
A市長 少子化が進んでいく中で、現段階では考えていない。



坂野 由和 議員

商工業の振興策は幅広く誘致活動する

指名方法、入札方式は基準に従って



寺内 照雄 議員

Q 国民健康保険税の課税漏れはどれだけか。責任の所在も明確に。
A市長 調査し必要な対応措置をとる。
A西市民部長 平成9年度以前のは、文書がなく、平成9年から12年の額は、手作業でやらなければならず、非常に困難である。

Q 大規模工事における入札方式、発注予定金額、指名対象業者、指名者数は。
A油野市長 入札方式は設計金額が1億円以上で、公募型指名入札、また、設計金額が5億円以上で、制限付き一般競争入札により実施し、要綱を定め、情報を公表する。業者格付け基準は、土木及び建築一式工事は4等級制とし、その他は3等級制としている。
指名は、設計金額基準によって指名業者を選考する。



公正・公平な入札を

学校評議員の導入は考えていない



多々見 武 議員

Q 学校評議員制度の導入について、どのように評価しているのか。学校評議員をおく意思はあるか。
A遠田教育長 運営が安定する学校もあり一定の評価をしているが、学校と地域が一体となるよう努力しており、導入は考えていない。



横断歩道は手をあげて(緑ヶ丘保育園)

Q 子どもの健全育成対策について、しつけの指導書を作成し、学校、家庭に配布することを提言するがどう考えているか。
A教育長 小学校入学時と小学5年生に、国、作成の家庭教育手帳を配布している。

Q 非行対策として補導員を店舗の責任者、警備員の方に委嘱しては。
A教育長 少年愛護員については、60名の少年愛護員を委嘱し、定期巡回補導員および特別補導活動を行っている。



富澤 明次 議員



じん速、ていねい、笑顔で(市役所窓口にて)

Q 行政改革推進委員の公募は。
A油野市長 市民の目線に立ち、行政改革の実施計画を策定する。推進委員は10人程度で組織し、広報などを利用して公募する。

Q 市職員の対応を含めたマナー、また教育指導についてどう考えているか。
A市長 職員の接客マナーの向上については、様々な研修を受けさせ、あいさつや明るく丁寧な対応には接客待遇マニュアルを作成し、職員に周知させ、本庁舎玄関に、総合相談窓口案内所を設置したい。

Q 中学校の通学圏を自由にしては。
A遠田教育長 学校と地域との連携、意識など薄れるデメリットもあり、全国でも約1%強くらいしかなく、全国、県下の状況を慎重に見極めたい。

職員の資質向上をめざせ

多種多様な研修で

常任委員会 レポート

平成16年6月8日に開会した第2回定例会に、所管に係る一般会計予算、条例、請願・陳情など、付託された議案の審議のため、総務、福祉文教、市民環境、産業建設の各常任委員会ならびに、環境・開発・交通特別委員会を開催した。



真剣に
(県立看護大学)



ケーブルテレビの 調査費を計上

おもな質疑

- 山口議員** 住宅補助金を受ける看護大学生は何人か。
- 沖野企画財政課担当課長** 175名で1人6万円。
- 長谷議員** 市のモニユメント製作費は。
- 板坂財政企画課長** 256万円を予定。
- 澤本議員** 総合計画策定委託料は。
- 板坂課長** 700万円で10年計画を策定。
- 坂本議員** ケーブルテレビ調査費とは。
- 板坂課長** 内灘、津幡も稼動しているので調査費300万円を計上。
- 新藤議員** 税金滞納分の15%徴収は少ない。
- 山口課長** 専任職員を配置し対応。
- 杉本副委員長** 公共施設な

どの管理委託費は。喜多管理課長 宇ノ気まちづくり公社6千500万円、高松管理公社7千400万円。
眞田議員 広報の人物写真に穴があいているが。
板坂課長 誠に遺憾。お詫びし注意する。
杉本副委員長 土地現況調査料とは。
山口税務課長 高松地区での路線化方式導入のため。
新藤議員 地区要望の土木費は。
油野市長 本年度は学校建築が最優先。緊急を要するものは例外とする。
國友議員 市長、議長、教育長の交際費は適切か。
板坂課長 財政厳しい折、適切である。

審議の結果

- ◆一般会計予算 (賛成8人、反対1人) 賛成多数で可決した。
- ◆土地取得特別会計予算
- ◆かほく市墓地特別会計予算
- ◆かほく市宅地造成特別会計予算

委員名

- 委員長 福村 穰
- 副委員長 西田 正剛
- 長谷 久人・眞田 善作
- 坂本 昭雄・國友 憲
- 新藤 豊明・澤本 正一
- 杉本 正一・富澤 明次
- 山口博之丞

陳情

寒冷地手当の見直し改善を求める陳情書は、自治体財政への影響などを勘案する必要がある、また地域的な調査研究も必要なことから、継続審査とすることに決した。

以上6件について慎重審議の結果、妥当と認め、全員賛成で原案可決した。

- ◆公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例
- ◆職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- ◆字の区域及び小字の名称の変更について

若い世代のために

魅力ある街づくりを



小池田利治 議員

Q 核家族化現象の進む中、結婚しても新居を他市町に求める若者に「住んでみたい」「住んでよかった」と思うバランスのとれた、魅力ある街づくりが必要だと思いが、どのような施策で定住化を推進するのか。



待ちに待った開通式

A 油野市長 金沢市に近く月浦・白尾間のアクセス道路の開通、交通基盤の整備など、市になってのイメージアップにつながり、人口増加の可能性が強い。福祉行政の充実だけでなく、中学校の改築、スポーツ施設の整備など、若い世代にも魅力のある事業に取り組み、またケーブルテレビの整備なども必要と考える。

2校の改築予算は

総額75億円

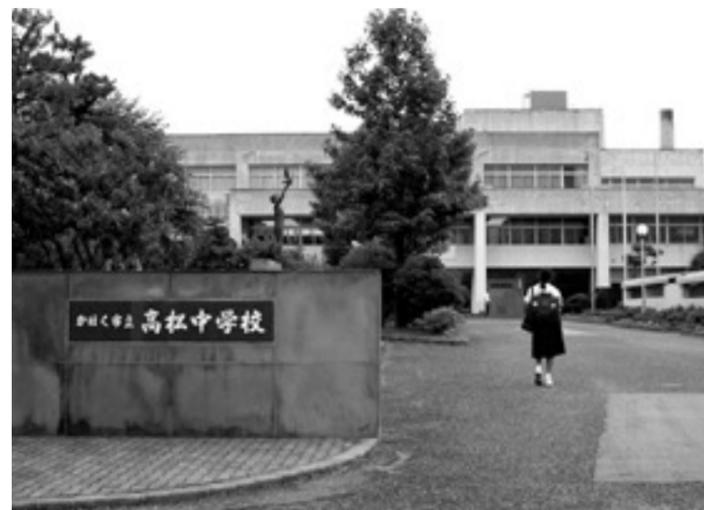


森 大輔 議員

Q 2中学校の改築を1校にできないか。
A 油野市長 旧町で、了解済み。

Q 通学区域の再編は。
A 市長 現在の通学区域が最善と考える。
今は再編の考えはないが将来児童生徒数に大幅な変化があれば必要と考える。

Q 改築予算の財源内訳は。
A 市長 総額75億円のうち、国庫支出金8億円、地方債が約49億円、残り17億5千万円を学校建設基金と一般財源でまかなう。



Q 請負業者の選定は。
A 市長 入札参加者資格及び指名選考要綱により実施する。

Q 新市のビジョンは。
A 市長 総合計画を策定し、税収を増やす人口増加策には、若い世代にも魅力のある事業を展開する。

次世代育成支援事業 少子化に歯止めを

使命は重く
(更新される救急車)



高井秀司委員 委託料の数字が大きい。歳出の見直しをすることで節約できないか。特に消防費での委託料の内容は。
油野市長 委託の業務については、これからの事業について、各々の事情がある。民間で出来るものは民間で、という考えである。
西市民部長 消防費における、委託料は、旧町での地域防災計画に基づいて、防災計画を策定する。

杉本委員 防犯対策推進事業、次世代育成支援事業の内容は。
高橋市民課長 防犯委員の制服、備品、および市内の街灯を整備するものである。また、要望は随時受け入れる体制である。旧町でアンケートを回収、県のエンゼルプランに基づいて少子化対策などの行動計画である。
森委員 交通安全施設整備事業および防犯委員の仕事の内容は。
西部長 カーブミラーの設置・白線引きなど交通安全

施設の整備。防犯委員は市民や学校に防犯意識の啓発活動および青少年の防犯指導など。
表委員 保育園の統廃合が検討されているが跡地の利用については、また、現在の園児数は。
高橋課長 跡地利用については、アンケートで意見を収集。緑地化や公園にという方向である。
(保育園児童数については表を参照)
細井委員 購入予定の高規格救急自動車の購入理由と新旧の比較は。
松居消防長 10年以上経過しており、更新時期である。

整備については基本的に同じである。
金田委員 住民基本台帳ネットワーク管理システムの現状は過剰設備と捉えられているが、カードの内容を強化し付加価値をつけることができるか。
高橋課長 全国的に印鑑証明などにも利用できないか検討課題である。

審議の結果
一般会計予算は、全員賛成で原案通り可決。
その他の報告
旧宇ノ気町の産業廃棄物処理業者の違反に対しての報告。
産業廃棄物の処理についての所管は県にあり、市としては撤去する事が出来ない。
県へ要求。県は指導したが、改善されず、業者を告発したものである。

委員名

- 委員長 多々見邦次
- 副委員長 金田 正信
- 細井 昭勝・猪村 博靖
- 山田 孝一・杉本 成一
- 小笠原宏光・竹内 幹雄
- 表 長義・高井 秀司
- 森 大輔

平成16年度 かほく市立保育園入園児童数

保育園名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
高松第一保育園	110	0	9	11	19	23	260
高松第二保育園	40	0	3	5	7	5	29
高松第三保育園	60	0	4	10	18	9	58
高松第四保育園	60	5	13	9	18	13	75
大海第一保育園	20	0	1	3	3	3	12
大塚第二保育園	90	0	5	16	17	20	75
はまなす保育園	120	1	7	15	24	24	109
緑ヶ丘保育園	75	5	7	7	19	11	67
ひまわり保育園	70	0	1	10	14	22	56
すみよし保育園	65	0	2	11	14	11	60
しらゆり保育園	100	0	8	8	21	18	90
新化保育園	170	3	24	24	25	35	151
内日角保育園	70	0	4	11	19	19	65
大崎保育園	100	1	6	15	17	27	84
七穂保育園	120	0	4	19	26	22	90
横山保育園	40	0	1	1	5	5	20
上田名保育園	45	0	1	5	11	8	26
合計	16	100	181	278	275	306	1158

平成16年度 学童保育クラブ児童数

高松学童	34	七穂学童	35	宇ノ気学童	60
大海学童	23	外日角学童	41	金津学童	17
合計	210				

おもな質疑

高橋委員 食の自立支援事業の内容を明確に示せ。
杉本健康福祉課長 現在は、配食サービスが主体で、利用者103人。今後は、自立

支援になるが、現在、国、県から基準が明確に示されていない状況。
坂野委員 他の施設に比べて、哲学館の清掃委託料が高い。
川島生涯学習課長 日常の清掃のほか、哲学の杜の管

担。
小山委員 国民年金事務費と、母子福祉事業の中身を
杉本課長 国民年金事務費

寺内委員 乳幼児健診を高松地区にもせよ。
杉本課長 不便解消策を検討する。
小山委員 ITアドバイザーの配置事業とは何か。

◆国民健康保険特別会計予算 (賛成9・反対1)
◆老人保健特別会計予算 (全員賛成)

委員名
委員長 荒井三喜雄
副委員長 松原 達佳
宮前 幹雄・高橋 成典
小山 廣助・桜井 末男
宮村 敏雄・寺内 照雄
坂野 由和・高井 和則
多々見 武



メスキルヒ市長を迎えて (西田記念哲学館)

理業務も含まれ
高橋委員 喫茶業務委託を見直し。
坂野委員 240万円の委託料はおかしい。自販機での対応はできるか。
松原委員 年間の売上金額は。経費削減を徹底せよ。
助実教育部長 建設時のコンセプトにより、喫茶室を設置したが、H15年度の売上は約140万円であり、自販機などで対応できるか検討する。
桜井委員 体協ユニホーム購入補助金、1人2万円となっているが、個人負担はないのか。
梶尾委員 2万円を超過する分は、すべて個人負担。

交通アクセスや経費削減も考えて、基幹センター1カ所が良いのではないかと。また、学校給食施設も一本化できないか。
杉本課長 高齢者が身近に相談できることを考えて市内3カ所とした。
助実部長 給食施設は両方共、新しい施設であり、当面一本化するつもりはない。
寺内委員 乳幼児健診を高松地区にもせよ。

◆一般会計予算 (賛成9・反対1)
◆国民健康保険特別会計予算 (賛成9・反対1)
◆老人保健特別会計予算 (全員賛成)

委員名
委員長 荒井三喜雄
副委員長 松原 達佳
宮前 幹雄・高橋 成典
小山 廣助・桜井 末男
宮村 敏雄・寺内 照雄
坂野 由和・高井 和則
多々見 武

食の自立支援の充実

松本学校教育課長 コンピュータに詳しい人をスポット的に配置して、IT教育を支援するもの。
寺内委員 河北台、宇ノ気両中学校の改築費はいくらか。
また、備品費は含まれているのか。

◆介護保険特別会計予算 (賛成9・反対1)
◆教育長の給与、勤務時間休暇等に関する条例の一部を改正する条例 (全員賛成)

また、備品費は含まれているのか。

以上5件を審議の結果、妥当と認め、原案を可決した。

請願

2005年国家予算編成において義務教育費国庫負担金制度の堅持を求めること。
原案採択 (賛成7・反対3)

その他の報告
国民健康保険税の課税漏れの問題で、原因が判明次第、責任者の処分をするとの報告があった。

学園台保留地の

販売促進を



みんなも踊ろう
(昨年のキャッツフ
エスタ)

おもな質疑

丹羽委員 土木費が一部の地域に集中しているのではないか。

宮坂産業建設部長 その通りである。
油野市長 継続事業を尊重したものであり、必要なものは補正予算で対応する。
西谷委員 学園台保留地の販売促進を。
田丸都市建設課長 全体で350区画あり、保留地115区画の内現在15区画売れている。市長 PR活動に努め、適正な価格を設定し、販売を促進する。
鶴見委員 市として初めての夏まつりをもっと大々的に行わないのか。
表商工観光課長 予算の中で特色のあるものにはしたい。
糺地委員 四季まつりではないのか。
表課長 市が主体となるのは夏まつりである。
沖津委員 七塚地区の消費工事は、3カ所要望しているが、今年度はしないのか。

宮坂部長 今年度は、高松、宇ノ気地区のみである。
小池田委員 大谷川と多田川の土砂揚げのバランスはどうか。
田丸課長 下流からが本当だと思われる。人家の被害が一番多い箇所から行っている。
糺地委員 横山や、笠島は要望しなくても毎年揚げないと、高松だけではダメではないか。
田丸課長 県へはそのつど要望している。
糺地委員 笠谷橋架け替え工事は、なぜ長期間かかるのか。
市長 県へ強く要望した。
糺地委員 松くい虫防除費1千400万円計上されているが、申請のあったところからするののか。

大西農林水産課長 申請のあった所から行っている。県の補助も含まれている。
沖津委員 松の切り放しで、その後、苗を植えないのか。
宮坂部長 松苗は、用意しているの、いつでも支給する。
糺地委員 七塚観光を助成するにあたり、今後の考えは、**表課長** 30人の雇用実績を考慮すれば、地域振興には必要である。
市長 現状では、これがベストであり、いい方法があれば提案してほしい。
沖津委員 白尾、木津線の整備は、継続事業として一番目玉と思うがどうか。
市長 最優先に中学校を建築するにあたり、目途がたつた時点で考慮したい。
西谷委員 南部浄化センター放流管渠吐口は、これでもいいのか。
高井下水道課長 漁協と協議し、早急に対応する。

審議の結果
◆一般会計予算
◆市営八入事業特別会計予算
◆大海財産区特別会計予算

以上3件は、原案可決した。(全員賛成)

委員名
委員長 別宗 明敏
副委員長 坂井 正朝
西谷 博英・糺地 哲
梅田 範文・大田 昇
沖津 千万人・小池田 利治
丹羽 厚志・鶴見 静朗

請願
◆下水道事業特別会計予算
◆水道事業会計予算
◆委託協定の締結

以上6件を審議の結果、妥当と認め、原案を採択した。

干拓地に係る農地保有合理化事業の主体的かつ効率的な適用措置を求めること。
稲作(加工米を含む)を取り入れた複合経営体の育成を求めること。

河北潟干拓地酪農団地の再構築と干拓地の活性化に資する土地利用を求めること。

環境・開発・交通 特別委員会

ボートピアの 誘致は継続審査

おもな内容

(仮称)ボートピアかほく専用場外舟券売場の誘致に関する請願について審議した。

澤本議員 一部の地権者に話がいつていない。



ディスプレイに見入るファン

多々見邦次議員 女性の会が反対。
油野市長 かほく市女性協議会4千52人、未来子育てネットワーク170人、支援ネットワーク648人の反対署名が提出されている。
西谷議員 地域振興策でもあるが、ギャンブル性がある、もっと研究すべきだ。
山田議員 旧宇ノ気町議会での視察結果も聞き、もっと勉強すべきだ。
油野市長 あわら市も休止の方向。電話でも舟券購入が可能。市財政のプラスになるかは疑問。

杉本副委員長 財政的にはどうか。
板坂企画財政課長 市の増収は、収入の4分の1程度となる。
寺内議員 一部の老人には喜ばれている。
金田議員 地域にいいものなら、なぜ他の地区で、できなかつたのか。もっと研究すべき。
寺内議員 住民にビデオをなど、判断資料の提供を。
多々見武議員 開発も念頭にを入れるべき。
桜井議員 時間をかけて検討すべき。

審議の結果

さらに調査、審議する必要があるので、次期定例会まで継続審査とした。

その他の報告

能登有料道路についての料金体系および、それに関する交通体系についても提案され、県当局に意見書の提出は執行部と協議の上、次回議会でも提出する方向で検討していくことになった。

第1回定例会

3月22日、1日間の会期で開催した。
市が県農業信用基金協会の会員となることについて可決したほか、大海財産区管理会管理委員の選任について同意した。

第2回臨時会

4月27日、1日間の会期で開催した。
平成15年度一般会計、平成16年度の暫定予算などの専決処分の承認22議案、条例など12議案を可決し、監査委員の選任など、人事案件4件に同意した。

第3回臨時会

5月31日、1日間の会期で開催した。
助役、収入役の選任ほか、一件に同意した。

傍聴者の声



Watching in かほく

ウオッチング 笠山滝 (かさやまだき)

笠山を水源とし、上田名を流れる院内川上流にある高さ約5mの滝。

名水御瀧を右に見て、
棚田のあぜ道を登り杉林へ。
鳥の声、水の音を聞きながらウォーキング。
小さな谷川の右手に…、
“おっ” 滝がある。

市議会を傍聴しよう



七窪

高田 紀之

6月10日、11日に、市議会を傍聴しました。
市長と議員の熱意あふれる質疑・応答が粛々と進行し独特の臨場感もあり、市政を知る良い機会となりました。しかしながら、持ち

時間を残す議員も多く、市の基幹をなす理念や基盤を支える町会や公民館などの論議も期待したいと思えます。

傍聴者は10人前後で、市長のモットー「市民と歩み、市民と語り、市民と創る」からはほど遠く、議会広報の改善もさることながら、議会に関心を持って傍聴し、先のモットーに添えて欲しい。

市にも女性議員を



高松女性会

沖野 峯子

議場のイメージは暗く、この中に女性議員が何名かいると花が咲いたようになると思います。市にも女性議員を熱望します。

女性会として、特に傍聴したい議件であった「場外舟券売場誘致」は、継続審議となりほっとしました。限られた、厳しい財源の中からの市政方針ですが、各家庭での家計の立て方と同じだと思えます。大変でしょうけれど市民が選んだ、市長さん、議員さんが一致団結して、「合併してよかった、住んでよかった、そして、活力とやすらぎのあるかほく市」になることを願わずにはられません。

議会を傍聴しませんか



次の定例会は9月です。

詳しくは、9月市広報及びホームページに掲載します。

編集後記

《市議会たより》を発刊するにあたり、県下の八市の議会だよりおよび、参考資料を見て比較すると本市の出来映えの良さを改めて確認しました。経験豊富な委員のおかげで編集作業も順調に進み、市民の皆様が心待ちにするような、分かりやすく、

身近な《市議会だより》となるよう努力して行きたいと思えます。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 高井 秀司 |
| 副委員長 | 森 大輔 |
| 委員 | 小笠原宏光 |
| 委員 | 猪村 博靖 |
| 委員 | 西田 正剛 |
| 委員 | 杉本 正一 |
| 委員 | 松原 達佳 |
| 委員 | 金田 正信 |
| 委員 | 坂井 正毅 |